

マリンレジャーに関する安全情報など様々な情報をお届けします！

## 海の事故情報 海の事故が続いています。命を守る3つの基本を忘れずに！

### 釣り中の海浜事故

7月から8月にかけて、釣り人の事故が続発しています。

- ① 岩手県八木港の防波堤の先端で釣り中、波が高くなって帰れなくなり、漁船により救助。
- ② 秋田港の防波堤で夜釣り中、段差につまずいて海に転落。音で気が付いた仲間がロープ付バケツを投げて確保、119番通報で駆けつけた消防署員により救助。
- ③ 岩手県広田埼の磯場に釣りに行く途中、誤って海に転落。自力で岩場に這い上がったものの、足を骨折するなどして動けず、携帯電話も壊れて連絡が取れなかったため、その場で救助を待ち、2日後に捜索中の母親が発見、海上保安庁と消防により救助。

このほかにも、岸壁や磯場で釣り中に海に転落する事故が発生しています。

防波堤や磯場の釣りは、リスクが大きいことを認識して、立入禁止場所に入らないことはもちろん、十分な装備を準備しましょう。釣りに行く際は、行き先や予定を家族に告げるとともに、できる限り仲間と一緒に行動しましょう。



### プレジャーボートの海難

- ① 【転覆】8月4日、石巻湾の網地島沖で、釣りをしていたプレジャーボート（2名乗船）が左舷側から波を受けて転覆しました。乗船者は海に投げ出されましたが、いずれもライフジャケットを着用していて、船底にはい上がって助けを求めていたところを、通りがかったプレジャーボートに発見され、通報を受けて出動した巡視艇に無事救助されました。



出港前の気象情報のチェックはもちろん、天候が悪くなりそうな場合は、早めの帰港を心がけましょう！

- ② 【転覆】8月20日、大船渡市の沖で、釣りをしていた手製の小型ボート（1名乗船、エンジン付）が、根掛かりした釣り針を外すため乗船者が船外に身を乗り出したところ転覆しました。乗船者は海に投げ出されましたが、ライフジャケットを着用していて、養殖施設の浮玉につかまっていたところを、通りがかった漁船に発見され、無事救助されました。



小型の船は、安定性が劣ることに留意して、船の中で不用意に立ち上がったたり、船べりから身を乗り出したりしないよう注意しましょう！

- ③ 【機関故障】8月23日、秋田市の沖で、プレジャーボート（5名乗船）がエンジントラブルのため航行不能となり、西よりの風に流されて砂浜に乗り揚げました。乗船者は、自力で砂浜に上がり無事でした。（エンジントラブルの原因については調査中）

エンジントラブルを防止するための一般的な事項として、出港前の点検や定期点検を励行し、



砂浜に乗揚げたプレジャーボート

エンジンオイルや定期交換部品は、メーカーが推奨する期間や運転時間に応じて交換しましょう！

**大切な命!自分で守る**

海上保安庁では、大切な命を自分で守るため、そして、一人でも多くの人を救助できるように、次の3つを基本とする「自己救命策確保」を推進しています。

ライフジャケットの常時着用

携帯電話などの連絡手段の確保

救助要請は118番

海のもしもは!  
**118**

### 命を守る3つの基本

万が一事故に遭遇した場合に、自分の命を守るため、次の3つの基本を励行しましょう。

- ① ライフジャケットの常時着用
- ② 携帯電話(防水タイプ又は防水パック使用)などの連絡手段の確保
- ③ 救助要請は118番

### 海の安全情報 MICS(ミックス:沿岸域情報提供システム)をご存知ですか？

第二管区海上保安本部では、管内7箇所の海上保安部 MICS から主な灯台で観測した最新の気象・海象情報(風向・風速等)、海上工事・作業情報など、地元に着した海の安全に関する情報をインターネット等で提供しています。

東北の各海上保安部のMICSは、次のURLから！

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/O2kanku/mics/index.htm>

### 海に出かける前に気象・海象情報を確認しましょう！

磯や防波堤釣りが安全にできるかどうか、安全に航海できるかどうか判断するためには、天気、風向風速のほか、波の高さや潮汐の確認も大切です。風が吹いていない場所でも、遠くで発生した波がうねりとなって寄せてきます。震災により地盤が沈下している区域では、満潮時に海没する場所もありますし、低気圧等に伴う高潮(たかしお)にも注意が必要です。海辺にでかける時や、出港前には、必ず天気予報や警報・注意報、気象情報、海上警報、潮汐などを確認しましょう。MICSでは、主な灯台で観測した気象情報を提供していますので、是非参考にしてください。

#### 最新の気象海象情報を入手していますか



- MICSなどで最新の天気予報を確認
- 風、雲、波などの変化に注意
- 仲間の船と情報交換

**出航取り止めの勇気・早期帰航の決断!**

### 海難防止活動 夏季マリンレジャー安全推進活動を実施しました！

第二管区海上保安本部では、7月1日から8月31日までの間、夏季マリンレジャー安全推進活動を実施しました。期間中は、「自己救命策の確保」、「プレジャーボート等に係る出港前点検の励行等」、「離岸流による遊泳中の事故防止」に重点を置いて巡回指導や講習会等を通じた周知啓発を行うとともに、巡視船艇・航空機による沿岸パトロールを実施しました。



海浜事故防止啓発活動  
(勿来海水浴場海開き)

なお、期間中、プレジャーボートと遊漁船の海難隻数は10隻、海水浴や釣りなどのマリナーに伴う海浜事故者数は13人で、海浜事故により3人の方が亡くなっています。

## ワンポイント講座 海難事故防止のためのワンポイント講座です。今回は、「転覆事故防止」についてのお話。

小型船舶は、風や波の影響を受けやすく、また、人や荷物を多く乗せ過ぎると乾舷（喫水線から甲板までの高さ）が小さくなって、波が打ち込みやすくなるとともに、搭載する場所によっては重心が高くなって安定性が悪くなります。

- 出港前はもちろん、航海中も気象情報に注意して、天候が悪化しそうな場合は出港を取りやめたり、早めの帰港を心掛けましょう。
- 船ごとに決められた定員を必ず守りましょう。また、荷物の積み過ぎに注意しましょう。
- 重い荷物はできるだけ低い場所に置き、移動しないようにロープなどで固定しましょう。
- 横波や追い波は転覆につながりやすいので、できるだけ避けるような針路で航行しましょう。
- 特にミニボートは、より安定性が劣ることに留意し、船の中で不用意に立ち上がったたり、船べりから身を乗り出したりしないよう注意しましょう。



## 海の言葉 海や船に関する用語について解説します。今回は「面舵（おもかじ）と取舵（とりかじ）」についてのお話。

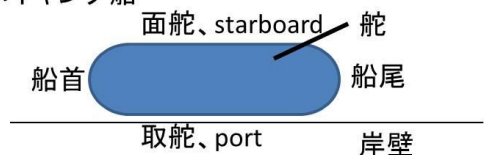
面舵は船の船首を右舷側に向けるように舵を取ること、取舵は左舷側に向けるように舵を取ること。（船の船首方向に向かって右側を右舷、左側を左舷と言います。）船の右舷側を指して面舵、左舷側を指して取舵と言うこともあります。語源は、十二支の方位で東を指す卯と、西を指す酉で表現した舵取りの方向「卯の舵（うのかじ）、酉舵（とりかじ）」と言われています。

英語では、面舵又は右舷側を starboard（スターボード）、取舵又は左舷側を port（ポート）と言います。昔、バイキングの船は、舵が右舷側に取り付けられていたため、右舷側を「操舵する側」という意味で Steer Board（ステア ボード）と呼び、舵がない左舷側を「港に接岸する側」という意味で port と呼んだのが語源と言われています。

卯の舵？うのかじ・おもかじ！



バイキング船



## お知らせ 福島第一原子力発電所沖の海上に警戒区域が設定されています！

福島第一原子力発電所沖の海上には、立入りが制限される警戒区域が設定されています。一般の船舶は、警戒区域を避けて航行してください。

詳しくはこちらのリーフレットをご覧ください。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/O2kanku/new/23.10.27koutsu.pdf>



第二管区海上保安本部

## 福島県沿岸を航行される皆様へのお願い

～特に内航船、漁船、プレジャーボート等の小型の船舶～

～福島第一原子力発電所周辺の警戒区域への立入り制限について～

浪江町、双葉町、大熊町、富岡町の沖合約5キロメートル(北緯37度30分49.6秒、北緯37度18分59秒、東経141度5分20秒の各線及び陸岸で囲まれた海域)は、原子力災害対策特別措置法に基づき、一般船舶の立入りが制限される警戒区域があります。この区域に入らない進路での航行をお願いします。

～警戒区域への接近を避けるために！～

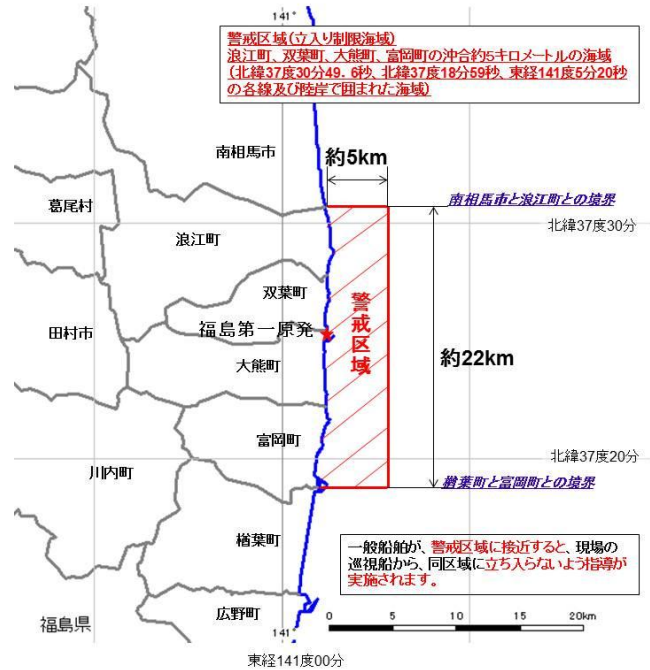
霧などの視界不良時や、夜間航行をするときは、自分の船の位置確認を励行しましょう。  
福島県沿岸を航行する小型の内航船、漁船、プレジャーボート、ヨットなどは、事前に警戒区域を確認するとともに、気象・海象を十分調査し、荒天が予想される場合には、出港時期を調整する等安全運航を心がけるようお願いいたします。

がんばろう！東北



## 福島県沖合の警戒区域

～福島県沿岸の立入り制限海域～



※警戒区域は、福島県浪江町から富岡町に至る沿岸の沖合い約5 kmまで設定されています。航行区域が海岸から2海里(約3.7 km)に限定される水上オートバイなどは、警戒区域を迂回して航行することもできませんので、注意してください！